

## 取組概要

本匠小学校では、「自ら学び、考え、伝え合い、ふるさとの未来をともに築こうとする本匠っ子の育成」をめざし、重点目標に「表現力」「他者理解」を設定して、自主性・表現力を育むための場づくりを行うとともに、総合的な学習の時間・地域学習の充実を図っている。

## 工夫・ポイント

### 【学校マネジメントの工夫】

- ◆小中の4点セットについて、特に大切にしたい項目を共通設定するなどして、9年間を見通した小中連携を進めている。
- ◆教務主任を中心として週案会議を週1回開催し、児童の実態を情報共有したり、日課表の調整等を行っている。

## 特徴的な活動

- ◆体力向上に向けて、週1回木曜日に「本匠っ子タイム」を設定し、投力を高める取組を継続的・重点的に行っている。
- ◆地域協育コーディネーターを中心に、学習サポーターによる学習支援や、地域との連携を密にしながら、伝統継承に重点を置いた取組を進めている。

## 関係者の声

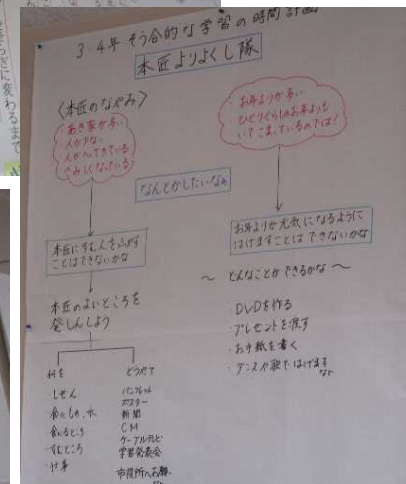
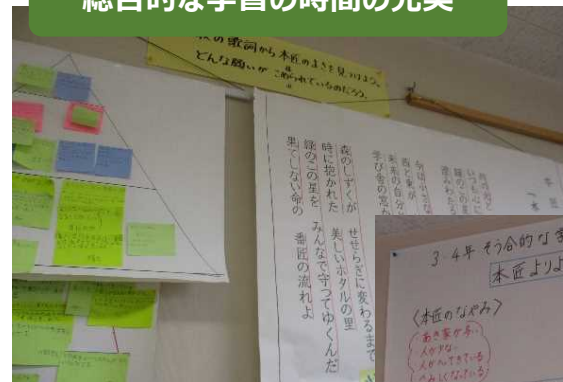
- ◆達成指標の客観性を高めるため、例えば「自分の思いや考えを友達に伝えることができた」達成指標について、教師や外部人材等による外部評価を検証・改善の視点として位置付けることや、表現力の育成のため他校との交流の場を設定することが考えられる。
- ◆教務主任を中心とした運営委員会や週案会議をより効率的にすることについて、例えば校時表の見直しによりその時間を生み出す等の取組も考えられる。

## 相互に認め合う場・児童会活動の充実

小中共通の取組



## 総合的な学習の時間の充実



## 個に応じた指導の工夫

